

医療の質向上のためにユニークで先進的な取り組みをしている病院を紹介しております。

# KAIZENは知恵を出して

医療法人尚賢会 高知高須病院

「モノを導入した改善、おカネを使った改善ではなく、自分たちで知恵を出して業務改善を行っていく」。これがKAIZEN活動の基本となります。

KAIZENという名称は、湯浅健司院長がトヨタ自動車の生産方式の中核をなすカイゼンをたいへん気に入ったことから付けられました。ローマ字のKAIZENにしたことには、通常の業務改善とは少し違い、皆で知恵を出し合うという認識を職員に抱いてほしいという思いが込められています。

年に1回、2～3月にかけてKAIZEN発表大会が開催されます。病棟、透析室など各部署で組成された10～12のチームが1年間の活動成果について発表します。本年2月に行われた大会では、「チームで取り組む退院支援」を進めた病棟看護部が最優秀賞を受賞しました。入院時から退院後の生活までを意識して患者さんに関わることにより、患者さんの退院への不安を軽減化させました。この病棟看護部は、2年前にも「超過勤務削減への取り組み～リーダー業務の見直し～」で大きな成果を上げ、最優秀賞を受賞しています。

KAIZEN発表大会は2010年より開催されており、本年で5回目となります。この大会を実施する前にもさまざまな業務改善の報告会はありましたが、病院全体で実績を評価するような会はありませんでした。KAIZEN活動を開始したことにより、しだいに職員から知



恵を使った改善提案が出てくるようになり、またこのような考え方が浸透することにより各職員の成長も見られるようになりました。

発表大会では、院長以下6名の審査員が、各チームの演題発表についてテーマ、取り組み状況など5項目にわたって評点をつけ、その合計得点により最優秀賞、優秀賞を決定します。またそれとは別に理事長が奨励賞を決定します。モノ、カネに頼ったものではなく、自分たちで考え、工夫した活動に高得点が与えられます。

湯浅院長は、このような病院全体の大会に医療の質向上に関するテーマも盛り込みたいと考えています。ただし、このKAIZEN発表大会に組み込むか、もしくは同じく年度末に行われる目標管理総合討論会に入れるかについては目下、検討中です。後者は医局、看護、事務など各部門が、年間の目標とその実績を発表する大会です。いずれにしても、この2つの大会が今後も車の両輪となって病院の発展を支えていくでしょう。

(企画部 林 秀行)

## 医療法人尚賢会 高知高須病院

高知県高知市大津乙。許可病床数63床、人工透析センター180床。2004年3月認定第JC0133号（一般100床未満）、09年3月認定第JC133-2号（同）、14年3月認定第JC133-3号（一般病院1（20床以上100床未満）（主たる機能））。